



平成 21 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 7 月 15 日

上場会社名 株式会社ドトール・日レスホールディングス
 コード番号 3087
 代 表 者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星野 正則
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)木高 毅史

上場取引所 東証一部
 U R L <http://www.dnh.co.jp/>
 T E L (03)5459 - 9178

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21 年 2 月期第 1 四半期	26,401 ()	2,605 ()	2,723 ()	1,530 ()
20 年 2 月期第 1 四半期	()	()	()	()
20 年 2 月期	101,314 ()	10,004 ()	10,434 ()	5,453 ()

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21 年 2 月期第 1 四半期	30 35	
20 年 2 月期第 1 四半期		
20 年 2 月期	108 07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 2 月期第 1 四半期	92,287	75,840	82.2	1,503 81
20 年 2 月期第 1 四半期				
20 年 2 月期	91,158	75,493	82.8	1,496 94

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金		
(基準日)	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 2 月期		25 00	25 00
21 年 2 月期(予想)	13 00	13 00	26 00

3. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中 間 期	54,320 ()	5,404 ()	5,697 ()	3,659 ()	72 56
通 期	107,817 (6.4)	11,096 (10.9)	11,654 (11.7)	6,539(19.9)	129 67

4 . その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4 . その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界規模の原油・原材料の高騰などから国内経済はますます不透明感が高まる状況となりました。

外食業界におきましては、景況感の悪化による消費者の購買行動の変化から既存店売上が低迷しております。また、食の安全・安心に対する意識の高まり、ニーズの多様化や原材料価格の更なる高騰懸念など依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは候補地を厳選しながら新規出店を拡大するとともに、コストコントロールを徹底することで効率化を図り、既存事業の再強化を行ってまいりました。また、一部消耗品などの共同調達を開始するとともに、将来的なフランチャイズ化を前提として新たな業態の開発に取り組むなど、統合効果実現のために必要な着実な布石を打ち出し始めております。

これらの結果、当第 1 四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は264億 1 百万円、営業利益は26億 5 百万円、経常利益は27億23百万円、四半期純利益は15億30百万円となりました。

(小売事業)

< レストラン部門 >

日本レストランシステムグループ

商品面では、商品価値の一層の向上を目指して、「先斗入ル」などの新メニューの開発を行う他、「ザ・ダージリン」などの新業態を開発しました。しかしながら、ガソリン価格の高騰を背景にロードサイド店舗の来客数が伸び悩んだ事などから、既存店は前年を下回る結果となりました。店舗展開につきましては、立地を厳選して 6 店舗を新規に出店する一方、家主の事情などで 4 店舗を閉店しました。また、顧客の嗜好に合わせて 4 店舗を業態変更しました。

< 喫茶部門 >

ドトールコーヒーグループ

主力業態であるドトールコーヒーショップ及びエクセルシオール・カフェにおいて価格改定をおこないました。また、昨年来継続しているヘルシー食材を使用したキャンペーンによる単価の高い商品が好調に推移するなど、既存店売上は前年比を上回ることができました。店舗展開につきましては、ドトールコーヒーショップを 10 店舗(直営店 1 店舗、加盟店 9 店舗)、エクセルシオール・カフェを 5 店舗(直営店)、合計 15 店舗の新規出店を行っております。

(卸売事業)

ドトールコーヒーグループ

卸売事業部門におきましては、一般卸売上において、コンビニ向けに「エスプレッソラテ」や「カフェオレ砂糖ゼロ」などチルド飲料の新商品を積極的に展開した結果、お客様からご好評の声も頂き順調な業績で推移しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産残高は新規出店に伴う固定資産の取得や差入保証金の増加、また投資有価証券の取得等から922億87百万円となりました。負債残高は買掛金や未払金の確定債務等により164億47百万円、純資産残高は利益剰余金の増加等により758億40百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 2 月期の連結業績予想につきましては、概ね予想どおりに推移しており、本資料の公表時点においては、平成 20 年 4 月 15 日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

4 . その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項ありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成20年2月期 第1四半期末	当四半期末 平成21年2月期 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 (平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金		13,361			15,754
2 受取手形及び売掛金		6,486			5,596
3 有価証券					1,000
4 たな卸資産		1,982			1,902
5 繰延税金資産		808			760
6 その他		2,412			1,612
7 貸倒引当金		94			96
流動資産合計		24,957			26,529
固定資産					
1 有形固定資産					
(1)建物及び構築物		16,477			16,280
(2)機械装置及び運搬具		1,733			1,810
(3)土地		11,376			10,386
(4)その他		1,368			1,387
有形固定資産合計		30,956			29,865
2 無形固定資産		1,474			1,521
3 投資その他の資産					
(1)投資有価証券		11,331			9,752
(2)繰延税金資産		1,604			1,652
(3)敷金保証金		20,751			20,598
(4)その他		1,212			1,237
(5)貸倒引当金		0			0
投資その他の資産合計		34,899			33,241
固定資産合計		67,330			64,628
資産合計		92,287			91,158

科 目	前年同四半期末 平成20年2月期 第1四半期末	当四半期末 平成21年2月期 第1四半期末	増 減		(参考)前期末 平成20年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金		5,827			5,734
2 短期借入金		520			520
3 一年以内返済予定 長期借入金		46			127
4 未払法人税等		1,326			1,474
5 賞与引当金		1,439			889
6 役員賞与引当金		40			
7 その他		3,906			3,554
流動負債合計		13,107			12,299
固定負債					
1 長期借入金		49			55
2 退職給付引当金		993			978
3 その他		2,295			2,330
固定負債合計		3,339			3,364
負債合計		16,447			15,664
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金		1,000			1,000
2 資本剰余金		29,192			25,858
3 利益剰余金		46,469			49,537
4 自己株式		366			365
株主資本合計		76,295			76,030
評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金		480			540
2 繰延ヘッジ損益		21			
評価・換算差額等合計		459			540
少数株主持分		4			3
純資産合計		75,840			75,493
負債、純資産合計		92,287			91,158

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成20年2月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成21年2月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成20年2月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高		26,401			101,314
売上原価		11,137			42,304
売上総利益		15,263			59,010
販売費及び一般 管理費		12,658			49,005
営業利益		2,605			10,004
営業外収益					
1 受取利息		101			337
2 受取配当金		0			17
3 不動産賃貸収入		6			57
4 投資有価証券 売却益		2			2
5 その他		30			97
営業外収益合計		141			513
営業外費用					
1 支払利息		2			14
2 新株交付費					19
3 創立費					7
4 株式上場費用					11
5 不動産賃貸費用		4			24
6 持分法による 投資損失		8			
7 その他		7			6
営業外費用合計		23			83
経常利益		2,723			10,434
特別利益					
1 退店補償金収入		15			72
2 投資有価証券 売却益		46			358
3 保険解約益					49
4 その他					23
特別利益合計		61			504
特別損失					
1 固定資産除却損		17			141
2 店舗閉鎖損					399
3 減損損失					298
4 経営統合費用					251
5 その他					175
特別損失合計		17			1,267
税金等調整前四半期 (当期)純利益		2,767			9,670
税金費用		1,236			4,217
少数株主損失		0			0
四半期(当期)純利益		1,530			5,453